

子育て支援策に関する提言書

平成30年10月

丹波市議会

目 次

1 提 言 書

子育て支援策に関する提言（母子健康手帳アプリによる子育て情報配信）・・・ 1

2 政策討論会開催状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3 参考資料等

（別冊）丹波市議会各会派から提出された全提言

課題・論点	提言内容（具体的に）	提言の趣旨・必要となる経費とその根拠	対象者	目標数値
新たな子育て支援策	母子健康手帳アプリによる子育て情報配信	【提案の背景】 丹波市は、人口減少下にあっても世帯数が増加しており、今後、子育て世帯の孤立化が心配されます。（現在は祖母同居世帯が28.3%、30分以内の近居世帯が37.0%） また、少子化によって子育て情報を交換する仲間が近くに少なくなり、相談相手が失われていく心配もあります。 そうした中であって、子どもを育てるにあたって、心配事を解消したり、助けあったりできる環境は重要と考えます。 丹波市における子育てアンケートでは、優先的に取り組むべき子育て支援として、給付・施設整備を除くその他の中で、「医療体制」「防犯」に次いで「情報提供の充実」が2.1%と高い要望がありました。また、「妊婦期に色々な情報が欲しかった」という自由意見も出ていました。 【提案の概要】 子育て世帯に対する情報環境を充実するため、若い人が多く利用しているスマートフォンを通した情報環境を整備し、保健師による充実した相談・支援体制を補完することを提言します。 親子健康手帳配布に合わせてアプリを提供し、それを通して「子育ておせっかい情報」を配信します。 この施策を通して、子育てが「孤育て」になることを防ぎ、安心	妊娠が判明した保護者	子育てアンケートにおける子育て環境支援の満足度のアップ 「高い」「やや高い」46%→50%

		して子育てできる環境の実現に資することで、子育て環境支援への満足度の向上を目指します。 【実施内容及び経費】 <現状> 子育て情報については、子育てポータルサイト「すくすくポケット」で配信しています。しかし、ホームページだと情報を取りにいかなくてはならず、結果的に、「すくすくポケット」の認知度は25.4%(子育てアンケート)と、浸透しきっていません。 <先行事例> NPO法人ひまわりの会とNTTドコモ、メディアパートナーズの3社で協業した「母子手帳アプリ」は、2018年7月2日現在で50自治体が導入しています。兵庫県では、芦屋市・佐用町が導入しています。 <手法> 母子手帳の配布と合わせて、アプリのダウンロードを案内します。アプリですので、必要な情報が適切な時期に自動配信されるため、受け身でも必要な情報が手に入ります。 アンケート機能を利用して、市の取り組みへの意識調査や、各種教室やイベントの参加申し込みなどにも活用できます。		
--	--	--	--	--

		<必要経費> ア) 定期配信（基本機能）：無料 イ) 随時配信：24万円（2万円／月） ウ) アンケート・イベント申込：36万円（3万円／月） ※イ、ウのセット割 50万円／年 今回の平成30年7月豪雨で倉敷市では、母子手帳をなくした方も多くありました。母子手帳の再発行はできても今までの成長の記録は消失してしまい寂しいとテレビの報道で聞きました。アプリであれば、その点も解決できます。		
--	--	---	--	--

政策討論会の開催状況

第1回 平成30年6月13日(水) 午前9時26分～

- ・「子育て支援策」の提案説明

第2回 平成30年7月20日(金) 午前11時20分～

- ・議題に対する各会派からの提言発表

第3回 平成30年8月28日(火) 午前9時28分～

- ・各会派からの提言に対しての質疑、討論

第4回 平成30年9月11日(火) 午前9時28分～

- ・幹事会で抽出、精査された提言に対しての質疑、討論

第5回 平成30年10月12日(金) 午前9時30分～

- ・議会提言とする討論
- ・提言書のまとめ

